

# 平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 5月 26日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	11220
政策名 (章)	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります	評価担当課	保健福祉部 ▼
基本施策名 (節名)	第2節 いきいきとした高齢社会の創造		高齢者福祉課
施策名	高齢者の社会参加と生きがいづくり	課長名	村上 博由

## 1 施策の概要・目的

豊かな経験・知識・技術等を蓄えた高齢者が、地域社会の一員として、それらの能力を活かしながら積極的に地域の様々な活動に関わることができるよう環境整備の充実を図る。

また、高齢者の自主的な学習活動意欲は一層高まっており、生涯を通して学びたいことを学べる学習環境づくりの充実を図る。

## 2 施策の現状

高齢者が充実した日常生活を送ることができるよう、豊かな経験と知識や技術を活かした就業の場やボランティア活動など社会参加の場づくりを進め、地域社会へ積極的な役割を果たしていけるよう、シルバー人材センターや老人クラブ、自主的グループなど的高齢者自身による活動を支援します。

また、学習・文化・スポーツなど、高齢者の生涯学習活動が活発に行われるための環境づくりを進めています。

## 3 総事業費及び人員

### (1) 施策に要している総事業費

209,520

千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

### (2) 市民1人当りの事業費

340

円/人……人口は、61.6万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

### (3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第69番目です。

### (4) 施策に要している人員

9.62

人……構成事務事業全体の人員合計

## 4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値		目標
			現状	目標	達成度
指標1	生きがい活動への参加又は希望者の率 13年度実態調査結果 参加又は希望者/(調査3,775人) 介護を要しない一般高齢者を対象	何らかの生きがい活動へ参加している又は、してみたい者の動向を探る。	92% 単位	0 50 100	目標年度 16
			95% 単位		達成度 97%
指標2	高齢者の就業率 13年度実態調査	高齢者の就業状況を見る	22.5% 単位	0 50 100	目標年度 19
			28% 単位		達成度 71%
指標3	生きがい活動への参加希望のうち、地域等のボランティア活動への参加又は希望者の割合(13年度実態調査)	参加及び希望者の実態を見る。	12% 単位	0 50 100	目標年度 19
			15% 単位		達成度 80%

## 5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

高齢者が、寝たきりや痴呆など要介護状態にならず、心身ともに健康で快適な生活を可能な限り継続するためには、「自らの健康は自らつくる」との意識のもと、日頃から健全な生活習慣の維持、趣味・スポーツ・教養・ボランティアへの参加や就業意欲の向上といった息の長い取り組みが重要であり、今後ますます高齢者が増加するなか、介護予防・疾病予防の観点からも取り組みが必要である。

## 6 有効性…期待される効果があがっているか

価値観やライフスタイルの多様化が進む中で、一人ひとりが個性を尊重し創造的な生活を送りたいという意識が高まり、今まで培ってきた豊かな経験・知識・技術等を、地域社会の一員として活かしながら積極的に地域の様々な活動に関わりたいとする高齢者が増加している。(例:あじさい大学の終了者が自主的に活動を行っているサークルも100サークルを超え、現在も積極的に活動を展開している。)

## 7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

活動的な高齢者の閉じこもりや社会からの隔絶を防止し、社会参加・交流を促進することを目的として、その指標に対する達成度は、実施事業への参加者数や実施倍率等の増加からも見ることができ、かつ自主的な活動への継続、介護予防という観点からも大きな成果が上がっている。

高齢者の多様性に配慮しつつ、高齢者が安心して自立した生活を送れるよう今後も支援するものとする。

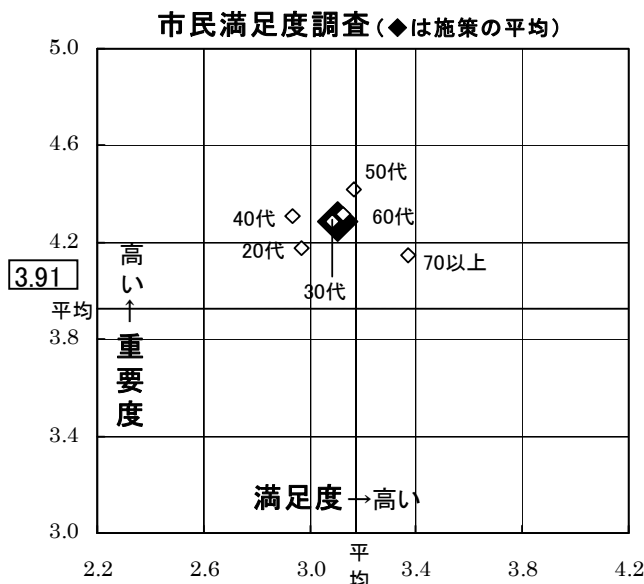
## 8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

◆この施策の満足度は、3.102で、調査した51施策の中で37番目です。

◆この施策の重要度は、4.290で、調査した51施策の中で5番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.840で、調査した51施策の中で7番目です。

◇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、重要度は50歳代で最も高くなっていますが、比較的年齢による差は大きくありません。



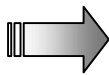
市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

## 9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

高齢期の自立支援に当たっては、高齢者が様々な生き方を主体的に選択することができるよう配慮が必要で、特に、高齢期においても活動的で年齢にとらわれずに多様なライフスタイルを実践したいとする高齢者が増加するとともに、一人暮らしや要介護等の高齢者も増えることが予想されることから、これらの者に対応した施策の展開を図る必要がある。

## 10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



### 説明及び具体的内容

高齢者の社会参加と生きがいを推進するため、関係団体・機関の参加と協力のもとに、高齢者のスポーツ活動、健康づくり活動及び地域活動等を推進するための組織づくりや、高齢者の社会活動を支援する指導者等育成事業、趣味や同好の仲間づくり(サークル活動)を通じて、生きがいを支援するための支援事業を実施することにより、高齢者の社会参加を図る必要がある。

## 11 2次評価

### 説明

<input type="checkbox"/> A	市民、民間、行政の役割分担の中で施策の再構築を行うこと。なお、施策目的に対する有効性の観点から、施策構成事業(高齢者大学や敬老事業など)の事業内容を見直すこと。
<input type="checkbox"/> B	
<input checked="" type="checkbox"/> C	

## 12 外部意見

### 説明

高齢者に対する施策について、ニーズに対応した質的な転換を図り、新たな事業展開を図る必要がある。

施策名 高齢者の社会参加と生きがいづくり

施策コード 11220

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要								施策中の優先順位		
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性		今後の進め方	
シルバー人材センター育成費	高齢者福祉課	14													法
老人クラブ連合会補助金	高齢者福祉課	14	41,268	1.50	AA	B	A	A	A	A	A		継続	法	
若竹園	高齢者福祉課	14													法
溪松園	高齢者福祉課	14													法
自主事業費(若竹園)	高齢者福祉課	14	21,091	2.26	AA	A	A	B	B	B	A		継続	法	
自主事業(溪松園)	高齢者福祉課	15	2,021	0.05	A	A	A	B			B	A	継続	法	
老人いこいの家維持管理費	高齢者福祉課	14	822	0.00	B	B	B	B	B	B	A		見直し	法	
高齢者大学運営費	高齢者福祉課	15	43,719	2.44	AAA	A	A	A			A	A	継続	1	
敬老訪問経費	高齢者福祉課	14	488	0.03	AA	A	A	A	B	A	A		継続	2	
敬老祝金等支給費	高齢者福祉課	14	38,144	0.12	AA	A	B	A	A	A	A		継続	3	
敬老事業(敬老会開催費)	高齢者福祉課	15	30,282	1.54	A	A	B	A			A	A	継続	4	
溪松園送迎バス運行事業	高齢者福祉課	14	10,771	1.15	A	B	A	A	C	A	A		見直し	5	
生きがい農園運営事業	高齢者福祉課	15	2,296	0.15	A	A	B	B			A	A	継続	6	
高齢者交流事業	高齢者福祉課	15	13,385	0.24	A	A	A	B			A	A	継続	7	
交流の集い経費	高齢者福祉課	14	3,040	0.07	A	B	A	B	B	B	B		継続	8	
全国健康福祉祭参加者派遣事業	高齢者福祉課	14													廃止
福寿手帳作成費	高齢者福祉課	14	2,193	0.07	B	A	C	C	B	B	B		見直し	廃止	

合計 17 事務事業

209,520 9.62 平成14年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度  
千円 人 平成15年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、公平性